大崎第一地域ニュース
はなぐるま
第133号
2017.10.20発行

編集　はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田3-6-3
TEL:3491-2000
saki1c@city.shinagawa.tokyo.jp
発行元　大崎第一地域センター

校長先生こんにちは！（十七）

近隣は閑静な住宅地であり、また回遊式庭園として有名な品川区立池田山公園に隣接した恵まれた環境の中に区立第三日野小学校はあります（大正11年開校）。

今回は第22代の校長として平成27年に赴任され、学校運営に意欲的に取り組まれておられる**藤森克彦校長先生**を訪ねてお話を伺いました。藤森先生は長身かつ筋肉質な体格の鉄人といった感じで、42歳からマラソンを始め、以降これまでにフルマラソンを約40回出場という実績の持ち主でもあります。目標は百回出場だそうです。

第三日野小学校　藤森校長

学校の児童数はどれくらいですか

藤森　今年度は634人でスタートしました。ここ10年間くらいで約1.5倍に増員となりましたが、たくさんの子どもたちと楽しく過ごしています。

地元でも非常に人気がある学校と聞いていますが、学校の特徴といったものがあれば教えてください

藤森　保護者の方のニーズとしては落ち着いて勉強させたい、子どもの願いを聞いてほしい、さらには子どもたちのアイディアにも耳をかたむけてほしいなどがあります。本校の特徴のひとつは図工に力を入れているということです。この授業は子どもたちに何をどう作るか、できるだけ子どもの考えを大切にしています。子どもたちは目を輝かせて取り組んでいます。以前、この授業は「トントンギコギコ図工の時間」という映画にもなりました。子どもたちの作品のひとつが中庭に展示してあります。

「カーペンターズ」（きのこハウス）

また、保護者や地域の方の協力で「コミュニティ・スクール」と称し、朝15分間くらいの本の読み聞かせをしたり、指導者同伴で地域の商店めぐりなどをしています。

「三日野おやじの会」というのを聞きますが、どんな組織ですか

藤森　保護者（OB含む）30名くらいでつくっているボランティアで、全校をお化け屋敷にしたきもだめし、校庭でのシャボン玉大会、校内で育てている畑の収穫や区民まつりの手伝いなどをしています。

先生の教育方針とプロフィールを教えてください

藤森　子どもたちへは、我慢強さを育てること、そして頑張っていることを「良し」とする学校づくりを目指しています。

私は江戸川区生まれの江戸川区育ちです。江戸川区の学校を皮切りに台東区の学校で教べんをとり、そのあと品川区教育委員会に異動し、小中一貫校の立ち上げに携わりました。それから江戸川小学校の校長を経て台東区教育委員会を経験し、一昨年本校にまいりました。昔は物づくりの建築家志望でしたが社会情勢などもあり人づくりの教育者となりました。家族は妻と一女の3人です。

児童の作品
（オリンピック・パラリンピック特別展示）

第三日野小学校　校舎

編集委員の感想

ご多忙のなか、いろいろと教えていただき本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。（編集委員　中村　記）

所在地：上大崎1-19-19
電　話：3441-7780
次回は西五反田保育園の園長先生をお伺いする予定です。

ゴタンダフェスティバル

7月30日（日）ＪＲ五反田駅東口駅前ロータリーを開放して、今年も第4回ゴタンダフェスティバルが開催されました。日野学園吹奏楽部の演奏に始まり、五反田一丁目町会長、品川区副区長の挨拶、清泉女子大学はじめ参加各団体の催し物と続きました。心配された天気にも恵まれ、出店二十数店、人出も約一万人と11時から19時まで賑わいました。

（編集委員　服部）

キッズパークで遊ぼう！

中原児童センターでは、毎週月曜日と土曜日の10時30分から11時45分まで乳幼児親子対象に『キッズパーク』を行っています。ボールプールや、ミニトランポリン、三輪車などで自由に遊べる空間からは、子どもたちの元気な声が聞こえて来ます。

土曜日はお父さんの来館も多く、『イクメンパパ』たちが大奮闘！お父さん同士が交流する姿も見られます。ぜひ遊びにいらしてください!!

（中原児童センター　金原）

地域で活躍するクラブやサークルの紹介記事を募集しています！

ご自由にお取りいただけるよう、多数部回覧お願いいたします。